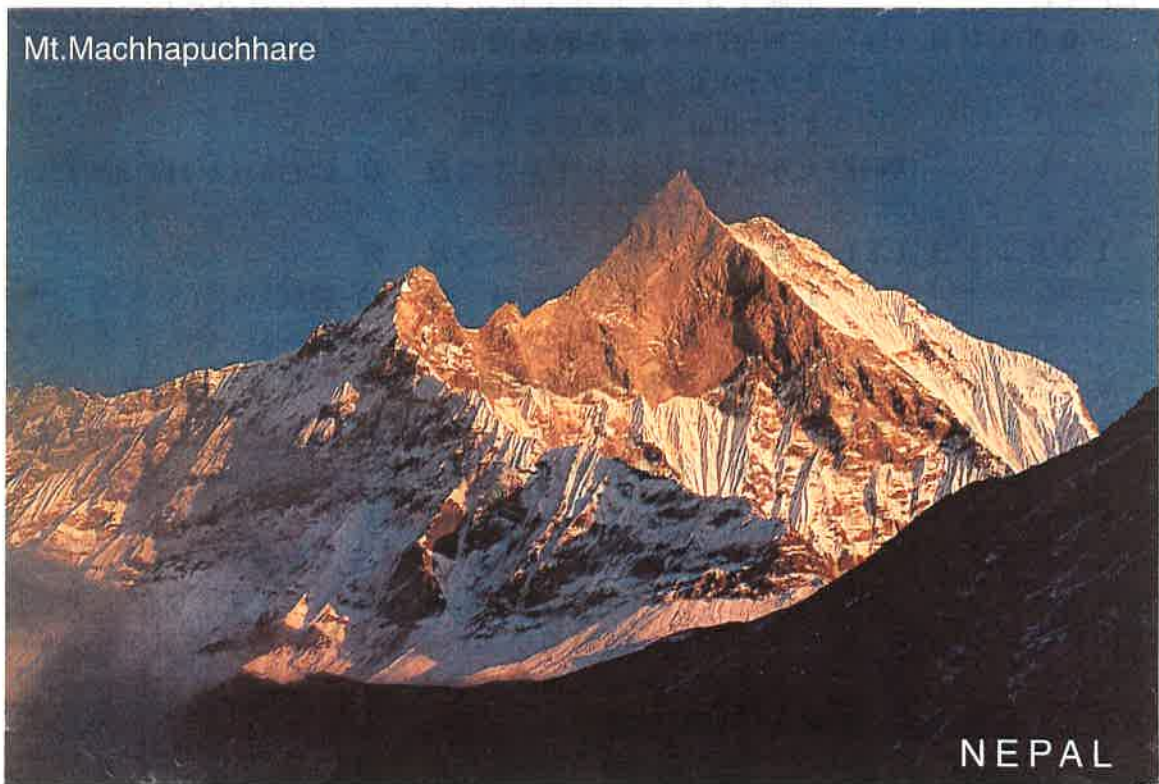


徳島ネパール友好協会・通信No.8

コスト・ラム कस्तौ राम्री

2001年10月 発行



第3回

ブジュン村 薬草調査について

外務省NGO活動で、補助金交付事業である薬草調査については
第1回…1999年12月1日～12月12日 第2回…2001年3月11日～3月
23日に実施いたしました。現地ブジュン村の方々の協力、支援は勿論ですが、徳島
大学薬学部 村上光太郎先生の努力によって、多大な成果を挙げ各方面から注目されて
いるところです。

今年度は、第3回の調査を後記計画書の通り、実施する予定で、10月10日出発し
ます。今回は、ブジュン村の薬草の分布調査や、栽培加工の技術の指導等を目的にして
おり、その成果が期待されております。

調査参加の皆様のご無事と健康をお祈り申し上げ、ご活躍を願うものです。

ブジュン村薬草等有用植物調査計画

1. 目的

ネパール王国ラムジュン地区ブジュン村周辺における、秋季の薬草等有用植物の植生調査を行い、これまでの調査結果も踏まえつつ、効果的な栽培方法や加工方法等について情報提供することにより、山間集落における新たな産業の創出に寄与する。

2. 日程

平成13年10月10日(水)～17日(水)

- ① 10月10日(水) 8:00 徳島駅前発 (高速バス)
10:40 関西国際空港 着
12:30 関西国際空港 発
(現地時間) 18:15 カトマンズ空港 着 (ロイヤル・ネパール航空 RA412便)
- ② 10月11日(木) 9:20 カトマンズ空港 発
10:00 ポララ空港 着 (ネパール国内線)
12:00 ブジュン村 (レンタル・ヘリコプター)
ブジュン村 民泊：薬草等有用植物調査スケジュール打ち合わせ
- ③ 10月12日(金)
ブジュン村：高地における薬草等有用植物調査 テント泊
- ④ 10月13日(土)
ブジュン村 民泊：ブジュン村周辺における薬草等有用植物調査
- ⑤ 10月14日(日)
ブジュン村 民泊：ブジュン村周辺における薬草等有用植物調査、及び住民等との打ち合わせ
- ⑥ 10月15日(月) 午前：ブジュン村
ポカラ空港 着 (レンタル・ヘリコプター)
午後：カトマンズ空港 着 (ネパール国内線)
カトマンズ市内 ホテル泊：採集薬草等の整理、及びマヘンドラ自然保護財団 (KMTNC=King Mahendra Trust for Nature Conservation) 関係者との打ち合わせ
- ⑦ 10月16日(火)
カトマンズ市内採集薬草等の整理
23:45 カトマンズ空港 発
- ⑧ 10月18日(水) (ロイヤル・ネパール航空 RA411便)
11:20 関西国際空港 着
12:10 関西国際空港 発
14:50 徳島駅前 着

3. 調査員名簿

- ① 村上光太郎 徳島大学 薬学部
② 山田 善仁 王子製紙株式会社
③ 谷口 安孝 徳島県庁 生産流通課



手すき和紙研修 のため

J O S H I さんの 来日予定

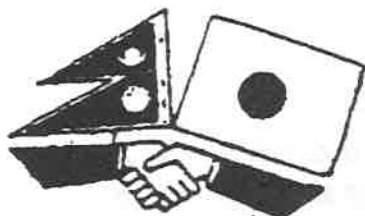
当会々員坂東良雄氏（元 J I C A 派遣専門家）は、昭和 5 7 年 1 2 月からカトマンズ市にある、政府家内工業局職業訓練所に設置された「ネパール手すき紙訓練センター」で J I C A の派遣専門家として、手すき紙製造技術の指導に従事してまいりました。

J O S H I さんは同センターでの優秀な教え子で、日本の手すき和紙製造に関する研修を希望し来日することになったので、当協会としても極力支援、協力いたしたく、会員の皆様の援助をお願いするものです。

案

joshi君 研修日程

	日付	行動予定	出発	到着	宿泊	備考
1	10月 28日	日	関西空港入国、出迎え坂東、徳島へ移動		坂東宅	
2	29	月	徳ネ協会および高知大崎氏と日程調整、身辺整理、休養		同上	
3	30	火	徳島山川、阿波和紙伝産業館見学		同上	
4	31	水	徳島鳴島PP社訪問紙染色研究		同上	
5	11月 01日	木	徳島大森字郡村上先生訪問・ネパール植物の製紙利用研究		同上	
6	02	金	徳ネ協会との交流		同上	
7	03	土	徳島発 高知への移動、坂東同行 大崎幹雄宅訪問		高知伊野地区	文化の日
8	04	日	1 伊野町・紙の博物館見学		同上	
9	05	月	2 伊野地区浜田製紙工所にて製紙実技研修		同上	
10	06	火	3 同上		同上	
11	07	水	4 同上		同上	
12	08	木	5 同上		同上	
13	09	金	6 同上		同上	
14	10	土	7 同上		同上	
15	11	日	8 同上		同上	
16	12	月	9 同上		同上	
17	13	火	10 同上		同上	
18	14	水	11 同上		同上	
19	15	木	12 同上		同上	
20	16	金	午前西川氏宅、弔禮訪問 午後徳島へ移動		坂東宅	
21	17	土	徳ネ協会との交流		同上	
22	18	日	徳ネ協会との交流		同上	
23	19	月	志摩産業工場見学 王子製紙工場見学		同上	
24	20	火	秋山工場で染色研究		同上	
25	21	水	同上		同上	
26	22	木	同上		同上	
27	23	金	徳ネ協会との交流		同上	贈答感謝の日
28	24	土	出発にそなえ身辺整理		同上	
29	25	日	徳島出発、見送り坂東、関西空港出国			



Tokushima Nepal Friendship Association

Phone: 81-886-75-0835 Fax: 81-886-74-4168

Nepal Office c/o Hotel My Home Kathmandu

Phone: 231788 Fax: 224466

招聘保証書

平成13年9月18日

外務大臣殿

保証人氏名 徳島ネパール友好協会
会長 天野親徳
住所 徳島県名西郡石井町藍畑字西覚円718-5
連絡先 TEL 088-675-0835 FAX 088-674-4168

査証申請人 Name : Mr. Jagadish Raj Joshi
Date of Birth: 1965-10-11
Address : Maru Tole, Ward No.19 Kathmandu Nepal
Passport No. : 1408070

当会は、上記の者が日本へ入国するにあたり、下記のとおりその身元を引き受けます。

記

1. 査証申請人の日本への入国、滞在について、次の事項を保証いたします。
 - (1) 日本への渡航費および滞在費を負担すること。
 - (2) 日本滞在中、日本国の法令を遵守させること。
 - (3) 求めに応じ在留状況を関係省庁に遅滞なく報告すること。
 - (4) 滞在日程の変更の都度、予め関係省庁に報告し、その指導を受けること。
 - (5) 入国目的以外の活動は行わせないこと。
 - (6) 滞在期間内に出国させること。

2. 入国理由

昭和57年12月、カトマンズ市にあるネパール政府家内工業局職業訓練所に新しく「ネパール手すき紙訓練センター」がJICAの協力で開業した。

伝統的なネパール手すき紙製造技術の日本式技法の導入による近代化を通じて、地場産業の活性化を目標にネパール各地からの訓練生を集めて、三か月間理論実技の両面からの教育を行って19年間、同所におけるその研修は絶えることなく現在に至っている。

申請人は、同訓練所の第三期生として卒業の後、引き続き同所の助手として勤務を始めたものであるが、製造技術体得に良い成績を上げたのみならず、その真面目な人柄は当局の認めるところとなり、現在は、同所の訓練監督の要職にある。

同人は本年とって36歳と若く、紙製造技術の今後の努力と進歩に期待できるところから、昭和57年当時、同所開業に参加した元ネパール側カウンターパートおよび元JICA派遣専門家（現在徳島ネパール友好協会会員）の有志の推薦により徳島ネパール友好協会の全面的な支援を得ることとなり、同人の日本四国地区における手すき紙製造に関する研修が計画されたものである。

今回の四国地区研修が実現すれば、同人にとり、まことに有益な結果をもたらすとともに、同所の訓練内容にも、より高度化の好ましい影響が生まれるものと期待されることから、同人Jagadish Raj Joshiに対する査証の発給につきまして特別のご高配を賜りたく、お願い申し上げます次第であります。

3. 滞在日程

平成13年10月28日	関西空港入国 坂東の出迎えを受けて徳島へ移動
10月29日	徳島地区での製紙工場見学 阿波和紙伝統産業会館視察
11月02日	和紙染色実技研修など
11月03日	徳島発、高知伊野地区へ移動 坂東同行
11月04日	土佐和紙製造全般について、大崎の指導を受ける 浜田製紙工房にて製紙技法実技研修
11月15日	伊野町紙の博物館視察 など
11月16日	高知発、徳島へ移動 坂東同行
11月17日	徳島地区での製紙工場見学 和紙染色実技研修など
11月24日	徳島ネパール友好協会との交流
11月25日	関西空港出国 坂東見送り

4. 滞在先

徳島地区においては、

坂東良雄

徳島ネパール友好協会会員 元JICA派遣専門家

徳島市北田宮4丁目12-8

TEL 088-632-5939

高知地区においては、

大崎幹雄

徳島ネパール友好協会会員 元JICA派遣専門家

高知県伊野町神谷3692

TEL 088-892-2668



2001年8月15日

ネパールの教育支援 里親の皆様へ

徳島ネパール友好協会 真鍋憲昭

「里子からのお便り」の送付と次年度の「支援金」のお願い

連日の猛暑もやっと峠を越したかと思わせる今日この頃となっております。里親の皆様方もお元気でお過ごしのことと拝察申し上げます。日ごろはネパールの貧しい子ども達への教育支援でたいへんお世話になっています。

さて、先日ネパールの里子達より「手紙・写真・成績表」などが送られてきました。(ウツタムさん達が家庭訪問をして集めてきてくれました。)里子たちが喜んで勉強している事が分かります。また、里親への感謝の気持ちも十分伝わってくるようです。残念な事に17人の里子の中で、1人だけ家の仕事のために学校をやめた子どもがいるようです。

ところで、次年度の教育支援のお金を集めたいと思います。出費の多い時期ではございますが、なにとぞご協力のほどお願い申し上げます。

- 1 期日 2001年9月30日まで
- 2 あて先 770-0024 徳島市佐古四番町12-3 真鍋 憲昭
電話番号 088-653-6413
電子メール manabel2@mocha.ocn.ne.jp
- 3 金額 12000円
- 4 送金方法 幸便、現金書留、郵便小為替いずれの方法でもかまいません。
- 5 お願い ①お知り合いの方で里親への希望者がいましたらお知らせください。
②次年度、どうしても都合が悪く里親をやめる方はお知らせください。
③9月ごろにネパールへ行く方や帰る方がいましたらご紹介ください。送金の手数料がたいへん高いのでことづけたいと思います。
④年内にネパールへ行く方がいましたら、里子たちへの文房具類を託したいと思います。お知らせください。
- 6 備考 私の勤務先をお知らせしますので、昼間はそちらへお願いします。
北島南小学校 電話番号 088-698-2680
FAX番号 088-698-1009
771-0205 徳島県板野郡北島町江尻字宮ノ本40-2

追伸 インターネット上で「徳島ネパール友好協会」のホームページを吉住さんが作ってくれています。そこに時々ネパールのHEE-NEP事務局 ウツタムさんのお便りなど掲載しています。ご覧下さい。

http://www3.justnet.ne.jp/~volty/TONFA/t_nepal.htm

ネパール里子教育支援会計報告

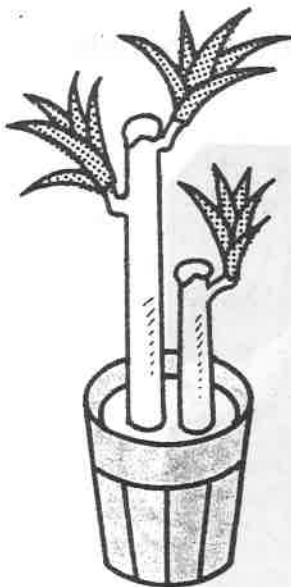
収入	里親からの支援金 (16人分)	192000円
支出	支援金としてネパールへ (16人分)	176000円
	切手	5140円
	送金手数料 (阿波銀行)	3500円
	通信・通話料 (年間)	3000円
	事務費 (会計簿・領収証・封筒・コピー代など)	3025円
合計		190665円
差引残高		1335円



備考 1人分は昨年11月7日、カトマンズにて直接HEE-NEP事務局に支援金を納入なさいました。

ネパールの「里子」と「里親」一覧表 2000.12.25現在
(徳島ネパール友好協会) (HEE-NEP)

番号	名前	年齢	性別	学年	父	母	家族(人)	職業	得意教科	趣味	目標	里親
1	ロビデブ・タバ・マガル	10	男	4年	無	有	5	農業	国語	無	教師	大田 治夫
2	ウサ・ラマ	10	女	3年	有	有	4	運転手	国語	無	医師	中谷 浩吉
3	ディリブ・クマル・グルン	11	男	2年	無	無	7	農業(叔父)	国語	読書	教師	古林 千之
4	クリバ・ナガルコティ	8	女	幼稚園	有	無	3	日雇い	*	読書	*	山田 善仁
5	ラビン・タバ	11	男	2年	有	有	7	日雇い	英語	無	教師	斎藤 武尚
6	ビル・バハデュル・ナガルコティ	14	男	6年	有	有	6	日雇い	社会科学	勉強	医師	三村 和生
7	マノズ・マガル	12	男	5年	無	有	7	農業	国語	勉強	パイロット	櫻原 治之
8	ボスンダラ・ナガルコティ	8	女	1年	有	有	8	日雇い	算数	勉強	教師	真鍋 憲昭
9	キリスナ・マヤ・ビソカルマ	10	女	2年	有	無	3	日雇い	英語	勉強	看護婦	吉本 旭
10	サガト・ラム・ラマ	7	男	1年	無	有	6	日雇い	国語	勉強	*	吉住 千亜紀
11	シリ・キリスナ・タバマガル	7	男	2年	有	有	7	日雇い	国語	勉強	医師	美馬 準一
12	ラクシミ・タマング	14	女	5年	有	有	9	日雇い	英語	勉強	教師	櫻原 道治
13	ブスポ・ラマ	10	男	4年	無	有	3	農業	英語	勉強	教師	北野 功治
14	サスナニ・タマング	12	女	2年	有	有	5	無職	国語	運動	法律家	天野 親聡
15	マハ・ラクシミ・ラマ	14	女	5年	無	有	6	日雇い	算数 国語	勉強	看護婦	長江 黎子
16	ハリ・ブラサド・ブダホキ	15	男	6年	無	無	5	日雇い	記載 無し	記載 無し	記載 無し	星山 昭二
17	ロビンドラ・ケーシ	11	男	記載 無し	有	有	7	農業	国語	勉強	善い人	邊田 えり子



ご協力ありがとうございます。お蔭様で、17人の貧しい子供達に勉学のチャンスを作ることが出来ました。まだ他に支援下さる方がおいでしたらご紹介下さい。真鍋憲昭
770-0024 徳島市佐古四番町12の3 電話 088-653-6413
電子メール manabel2@mocha.ocn.ne.jp

ネパール訪問 「第二章」

徳島県立中央病院

田尾 佳代子

国際協力の中で母子保健が重要な位置を占めるのは、社会の状況が悪くなればなる程、女と子供に影響を与えやすいからである。日本ではなじみの母子手帳の配布を他の開発途上国で行うことにより、妊婦や新生児のフォローアップに成功している例は多い。ブジュン村にでさえもピルやコンドームなどの避妊薬・用具が WHO から普及されているとはいえ、まだまだそんな外来の考えは定着していない。聞くところによれば、ブジュン村にも教育を受けた助産婦さんが一人いて出産を介助するとか。(お金のある人は近くの病院のある町まで降りて出産に備えるそうだが) 少子化の進む日本人にとっては、複数の子供を生き育てる様子は幸せそうに見えて仕方がないが、一方で出産は妊婦に多くの危険を伴う。ましてブジュン村など病院のないところでの出産は、出血・感染などで容易に命を落とす。カトマンズモデル病院の小児科医は、もともと栄養不良で貧血の、きゃしゃな母親が多く、生まれてくる赤子も平均に小さいと言う。そしてせっかくそんな危険を冒して生んだ命が、我々なら避けられて当然のはずの理由で亡くなっていく。

公衆衛生学的な考え方はとても重要で、妊産婦死亡率や乳児死亡率などを目安にそれぞれの国を比較する。けれどその数が出る過程において、その一人一人の死際の苦しみや、亡人への悲しみがある。これは私自身、フィリピンの病院で医学生をしていた頃、痛感したことである。「発展途上国は・・・ネパールは・・・」と、相手を大きなマスでみているといつものまにか他人事となっている。日本にいて日常に目にしなければ、海の向こうの国のこと等どんな悲劇が現に進行していても全く気にならない自分がいる。

インドで生涯を閉じたマザーテレサは、道端で弱り衰弱した人たちに何のためらいもなく手を差し伸べ自分の施設に連れて行き世話をするのだという。そんな大きな愛を持つことなど不可能に近いが、自分一人の短い一生で交われる人などほんのわずかな数であることを思うと、少し考えが変わってきた。どんな方法であっても、一瞬でも誰かを喜ばせることができれば、それは大きな価値があるのではないか。

またネパールが落ち着いたら、一人でも多くの徳島人が一人でも多くのネパール人と出会えることを祈っています。天野さん、よろしくお願ひしますね。



■訪ネ報告

7月25日 倉内 記

■2001. 7. 15~21

■カトマンズ (シャングリラ)、ナガルコット (クラブ・ヒマラヤ・リゾート)

それにしても日本はなんと暑いのか、ネパールから戻ってきて改めて実感させられている。

今ネパールは雨期であるが、例え雨が降っていてもしばらく待っていれば止んでくれるし、真夏の太陽がカッと照りつけていてもカトマンズでは、最高気温は29℃~31℃といったところで32℃と予報されることは滅多にない。そして夕方には涼しくなる。朝も9時ごろまでは涼しさも残っている。夜、エアコンをつけっぱなしで寝ようものなら大変なことになる。

朝からかんかん照りの暑い日には、午後には必ずものすごいわか雨が降り、熱せられた大地は冷やされる。自然の摂理が息づいているということが実感できるのである。

それに比べて日本は……。止めておこう、暑いだけである。

114回目のネパールは、あの6月1日の王宮での不可解な大量虐殺事件から1カ月すこし経っての7月15日~21日の1週間の滞在であった。5月の東京、大阪、福岡で行った『第2回ネパール観光セミナー』の精算を名目に夏休みをしに行ったというところである。

王宮は事件の後のせいか、人けが感じられずこれまでと比べて深と静まりかえっているように思われた。頭を剃った後の髪の毛が1~2cmまでのびトピーを被っている人がいたるところで見受けられた。今回の滞在中会った友人達は全員頭を丸めていた。

ほとんどの人が、6月1日の王宮での不可解な大量虐殺事件のショックを何らかの形で引きずっており、『マオイスト』(ネパール共産党毛沢東派、地下活動をしておりネパール語で『マオバディ』と云われ中西部の農村で武装闘争を行い、各地の警察を襲いこれまで2,000名以上の警察官を殺害している)の活動が軍隊が出動するまでにエスカレートしており(日本政府は、この『マオイスト』の破壊活動を理由にネパールへの『渡航延期勧告』を出している)、政治が混迷を極める中、「この先いったいネパールはどうなるのか」の不安を口にしていた。

今、ネパールは雨期で毎年観光客の少ない時期ではあるが、それでも毎年イタリア、スペイン、フランス等の南ヨーロッパからのバカンス客でそれなりににぎわっていなければならないのにカトマンズで一番にぎやかなタメルでさえ人通りは少なく、商売にならないとシャッターを閉めている店も少なくなく、それが余計に人々を滅入らせているかのようであった。友人達の多くもまだ立ち直れず、雨期で体調維持が難しい時であることを差し引いても、以前の元気な時とはほど遠く一日も早く元気を取り戻してほしいと願うばかりであった。

今回の訪ネで奇異に感じたことは、新しい国王の写真をほとんど見かけなかったことである。ネパールに行ったことのある人なら誰もが知っているように、個人の家であろうとホテルやレストラン、商店等、ネパール中どこにおいても国王夫妻の写真が飾ってあるが、亡くなったビレンドラ国王とアイスワリア王妃そして両親を殺した犯人とされたディレン

ドラ皇太子の写真が今も飾られており、いつはずすのかと聞いても『はずさない』との答えしか聞けなかった。「新しい国王の写真は」との質問にはほとんどの人は返事をしてくれなかった。返事してくれた人も「写真はこれでよい」と新しい国王の写真についての答えは聞くことが出来なかった。しかし何よりも明確な『回答』でもあった。

ネパール国民がいかに前国王夫妻と皇太子を敬愛していたか、そして新しい国王に親愛の気持ちを持っていないかを物語るものであった。このことは同時に、国民の多くがディペンドラ皇太子が両親である国王夫妻をはじめ他のロイヤル・ファミリーを殺した犯人とする調査報告を信じていないということも意味している。多くの人は、新国王の息子パラスを真犯人と思っており、亡くなったディペンドラ皇太子の友人達が「パラスを殺す」と誓っているということを知った。

実際、新国王と将来王位を継ぐことになるプリンス・パラスの評判は最低である。あえて云うなら、「ギャネンドラは国王になった。しかし自分とは関係ない」という雰囲気である。国民からの敬愛も信頼も何もない国王、そして吐き捨てるようにしか云われない次期国王、ネパールは本当にいったどうなっていくのだろうか。これでもパラスが殺されでもしたら王位継承者はなくなりシャハ王朝は終焉を迎えることになる。このことについては、「いいんじゃないの」が答えであった。

ネパール社会で古くから「シャハ王朝は11代で終わる」ということが言い伝えられてきたという。そのことはネパール人だけでなく他の多くのカーストの人々の間でも良く知られており、ちょうど亡くなったビレンドラ国王が11代にあっていたという。

だから「ギャネンドラは、間違いなく死ぬことが分かっている意識不明のディペンドラを12代国王とし、『シャハ王朝は11代で終わる』という『予言』は当たっていないということにし、自分が13代の国王になった」のだというのである。

ネパール人の給料は、普通の人で3,000ルピー（4,800円）程度、経理とか技師とかの高給取りでもせいぜい5,000ルピー（8,000円）というところである。それに比べて例えば子供の教育費は、寄宿舎付きの学校（子供に良い教育を受けさせたいと思えばこういった学校になる）の場合いくら安くても5,000ルピー（こういった学校は間違いなく超優秀な成績のものしか入れない学校である）、大部分は8,000～10,000ルピー（16,000円）もするという。

水道代、電気代（また2.6%の値上げが7月25日に発表された）、プロパンガス代、石油代はあがる一方。しかし給料は上がらない。生活は成り立たないのが現実である。学校を卒業して仕事をしたいと思っても仕事もない。知っている人の弟さんがロシアの大学院で工学博士号を取って帰国したが仕事がなく、居候をしているとのことである。タクシートの運転手をしている『博士』にであったこともこれまで2回ある。国民の不満は溜まる一方である。こういった政治状況がコイララの辞任を求め、『マオイスト』を生み出す土壌となっているのである。そして今回ついにコイララ首相は辞任した。ギャネンドラ国王は、辞表を受け取る際、形式的な慰留もせず、儀礼的な「ご苦労様」もなく無言で受け取ったとのことである。

「いったいネパールの人たちはどのように生活しているのだろう」ということを、今回はじめて真剣に考えさせられた。

6月下旬から首相官邸や最高裁長官宅等に爆弾が仕掛けられ被害はなかったものの『マオイスト』のキャンペーン、威嚇活動はエスカレートの一途をたどり、ラブティ州ロルパ郡において警察官71名を人質とした『マオイスト』に対し、ついに軍隊の出動となり7月14日までに1,000名以上の『マオイスト』反乱軍を完全に包囲し殲滅まで秒読みの段階に入ったものの、人権擁護団体が仲介に入り、野党第1党のネパール共産党・ユナイテッド・マルキスト・レーニニスト派も停戦を呼びかけ、『マオイスト』反乱軍は壊滅を免れた。その後、他の2カ所で22名の警察官が釈放されたものの、軍隊がその救出のために出動した現地で捕らわれている71名は依然として捕虜のままであり、その後も『マオイスト』反乱軍は、各地で警察への襲撃を続け警察官の殺害を続けています。(7月22日に首相に選出されたデオバ首相は、23日軍隊に対し『マオイスト』反乱軍とその支持者へのすべての作戦を中止せよとの命令を出しました。しかし、捕虜の釈放の代わりに、監獄にいる『仲間』の釈放を『マオイスト』側が求めているため条件が折り合わず、話し合いは未だに始まっていません。デオバ首相は『マオイスト』問題の解決が最優先課題と云っていますが見通しは不透明です。)

このような理解に苦しむ展開の背後には、次のような事情があるがさらなる事情については知る由もありません。

まず、『マオイスト』反乱軍は、それまで『国王』と『コイララ首相』を敵としていた立場を突然変え、「敵はコイララ首相」とスタンスを変えました。突然新国王を受け入れることにしたのです。そして「我々は軍隊を敵とは考えていない、軍隊とは戦わない、我々の側からはいっさい発砲しない」との声明を出し、そこに人権擁護団体が人権を掲げて仲介に乗り出したという展開になってしまいました。

ほとんどのネパール人は、軍隊が『マオイスト』反乱軍を完全に殲滅する事を期待していたと思われます。『マオイスト』の躍動が観光客を遠ざけ、ネパール経済そして社会に停滞をもたらしていることを誰もが感じはじめだしていたからです。

『マオイスト』たちは、「敵は警察官」と云っているものの、各地で政党活動家や商店、ボーディング・スクールや工場そして個人を襲い火をはなち金品を強奪し多くの人を殺しています。

なぜ突然『マオイスト』は、『誇り』を投げ捨てなりふり構わず王制(立憲君主制)を認め、一方的に軍隊とは戦わないと云ったのでしょうか。友人の一人がその事情を次のように説明してくれました。

『マオイスト』の5人のリーダーのうちの一人で軍事面の最高指揮官が包囲された中にいたので、今後の戦いのためにも何としても彼を救い出したかったと云うのです。そうだとすると、今回の結末は、より大きく問題を先送りしただけにしか過ぎないということになります。

ここで突然『ヒューマン・ライト(人権)』がクローズ・アップされてきたことに対し、ほとんどすべてのネパール人が、「それではこれまでに殺された2,000人以上の警察官の『人権』はどうだというんだ」と吐き捨てるように云っていたのが印象的でした。

デオバ首相は、7月26日に王宮での宣誓就任の後、組閣名簿を発表するとのことですが、果たしてデオバ首相と kongress (国民会議派)の内閣にネパールの直面している多くの問題が解決できるかどうか見守っていきたいと思っています。

今回、5月の観光セミナーに参加された『クラブ・ヒマラヤ・リゾート』から、どうし

でも来てほしいとお誘いを受け、忙しいので日帰りならと出かけました。

カトマンズから1時間半、標高約2,000mのナガルコットはカトマンズの喧噪が嘘のような別天地でした。気温も20℃程度、ガスっているかと思えば2~3後には陽の光が射し込み、ピン・スポットで大地が照らされ幻想的な雰囲気に触れてきました。『クラブ・ヒマラヤ・リゾート』は、4階建の全室がヒマラヤに面した客室が40室少しのこぢんまりしたホテルですが、広々とし段差をつけた豪華なロビー兼レストラン兼コーヒー・ショップの居心地は格別でした。残念ながらヒマラヤの峰峰を望むことは出来ませんでした。『クラブ・ヒマラヤ・リゾート』の素晴らしさを満喫してきました。

インドが建設中のダムでルンビニは、水没の危機に

7月25日、カトマンズ発、

釈迦生誕の地ルンビニはユネスコの世界遺産に登録されていますが、現在インドによって2,500年前に造られた古い仏教寺院の南東6kmのインド、ネパール国境を流れるダナブ川に建設されているルシヤル・クルダ・ロータン・ダム(灌漑用)がいったん完成すると、それらは水没してしまうと専門家は語った。

「釈迦生誕の地は危機に直面しています。高さ6メートルのルシヤル・クルダ・ロータン・ダムは、ダム・サイトの水位より2メートル高いだけのルンビニの考古学上の貴重な遺跡と周辺地域に直接影響を及ぼす」とトリバン大学の地理学者、ネトラ・プラサド・ディタルは語った。

ルンビニの南東6kmちょうどところにダムは建設されており、インドは約5カ月前にダム本体と2つの補完的な構造物の建設を一方向的に始めた。ダムの建設を監視してきたネパール政府の役人は、ダムのすべてはほとんど完成していると語っている。ルシヤル・クルダ・ロータン・ダムの東(ルパンデヒの郡事務所のある)バイラワの南に土で築いた10kmの堤防の建設は、ダナブ川とダング・コーラのようなその支流の自然の水の流れをせき止めるだろう。

専門家は、ダムと堤防によってマチャワール内の18の『ビレッジ・デベロップメント・コミッティ』の200の村々が水没することを恐れている。郡の人口が集中した肥沃な地域の大部分がダムの建設によって水没してしまうだろう。

パバニ、バグワンプール、シブセ、マジヤガワ、ボガディ、ベトクイア、ロイニハワ、ファレナ、アスライニ、ピブラ、シロリヤ、レイプール、シムラ、カラウティヤをはじめその他の『ビレッジ・デベロップメント・コミッティ』の水没も心配されている。

今日カトマンズで、影響調査報告書が発表されたが、その中でディタル氏は、ダムはネパール、インド国境の南のたった200メートルのところまで建設されており、「これは、国境から8kmの範囲内で行われるどのような工事であれ事前に2国間での協議を必要とする」と定めたヘルシンキ協定と他の国際法に違反している」とディタル氏は述べた。

国会議員でありネパール共産党=ユナイテッド・マルキスト・レーニスト派(最大野党)傘下の『デモクラティック・ナショナル・ユース・フェデレーション』の議長、ゴカルナ・ピスタ氏は、ネパール国民は、もしインド政府がこのように問題のあるダムの建設を止めないならどこまでも抗議すると語った。

『デモクラティック・ナショナル・ユース・フェデレーション』は、ダム工事の中止と両国政府に問題の解決を図るよう迫ると彼は述べた。7月20日に現地を訪れた16人の国会議員の一人であるカルキ氏は、現地の地理的な状況を説明した。

カルキ氏を含む16人のネパール共産党=ユナイテッド・マルキスト・レーニスト派の国会議員は、水没から古代遺跡ルンビニとネパールの国家主権を守るため結束するようすべての政党、団体、市民組織に訴える声明を水曜日(7月25日)に発表した。

7月25日付、『カトマンズ・ポスト』、<http://kantipuronline.com> より

7月30日、ネパール政府は、正式にインド政府に対し工事の中止を要求した。水資源省のビジャイ・クマール・ガチチェダール大臣は、ネパール側のダム建設の可能性を検討するため調査チームを派遣したと語った。また調査報告は、直ちに報告されるよう期待されていると語った。

与野党国会議員から問題提起されたこの問題はやっとなら政府が重大問題と認識し、遅まきながら政府の動き出すところとなった。

ビレンドラ国王夫妻ご急逝 に対する

弔辞 についての お礼状

ビレンドラ国王夫妻の不慮の事故によるご急逝に対して、当協会ではネパール徳島友好協会（会長：ビシュヌ・ゴパル・シュレスタ氏）とキング・マヘンドラ・トラスト（セクター：ジョイ・プラタップ・ラナ氏）に弔辞を申し上げていましたが、次のとおりお礼状をいただきましたので、ご報告いたします。

7月10日
天野 親聡 様

徳島ネパール友好協会 親愛なる天野さん

ジャイ プラタップ ラナ
KMTNC 書記

貴方や徳島ネパール友好協会にいる全ての貴方のお友達が先の国王ビレンドラ パー ビクラムと王族の幾人かが いまだに理解する事が困難な悲劇的な出来事で、悲しい突然の崩御に対する大変心温まる弔辞を頂きまして誠にありがたく思っております。

先のビレンドラ国王は貴方も述べられましたように ネパール国民から本当に敬われ愛された平和的で賢く慈悲深い指導者でした。いま 国家が喪に服しているとき、我々は崩御と悲しみを深い意味で(心の底から)共感で分かち合える友人を持って幸せと思えます。我々はあなた方の友好を評価すると共に支援に対して感謝致しております。

私は先日ネパール国の王位を継承されたギャネンドラ パー ビクラム シャー デブ国王に徳島ネパール友好協会の祝辞を宮殿に伝えることを誇りに思います。

私は国王陛下がブジュン小型水力発電プロジェクトの落成式でたくさんの徳島ネパール友好協会の方々にご会いましたので、貴方の祝賀の言葉をありがたく受け取るのには間違いないと思っています。

敬具

KING MAHENDRA TRUST FOR NATURE CONSERVATION



Date : July 10, 2001

Mr. Chikatoehi Amano
Tokushima Nepal Friendship Association

Dear Amano San,

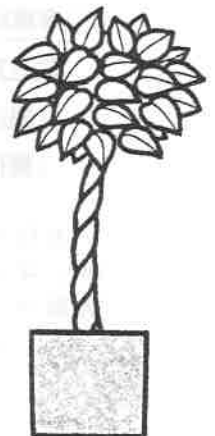
I would like to thank you and all other friends of Tokushima Nepal Friendship Association for the very kind message of condolences on the sad and sudden demise of His Late Majesty King Birendra Bir Bikram Shah Dev and several other members of our Royal family at a tragic incidence which we still find difficult to comprehend.

Late King Birendra, as you mentioned was a man of peace and also a wise and compassionate leader held in high esteem and affection by the Nepalese people. At this time of national mourning, we are fortunate to have friends like you to share our deep sense of loss and grief. We value your friendship and appreciate your support.

I shall be honoured to convey to the Royal Palace the felicitations of the Tokushima Nepal Friendship Association on His Majesty King Gyanendra Bir Bikram Shah Dev's recent accession to the throne of the kingdom of Nepal. I am sure, His Majesty who had the pleasure of meeting many members of the Tokushima Nepal Friendship Association during the Inauguration ceremony of the Bhujung Micro Hydel Project would be pleased to receive your message.

With warm personal regards.


Jai Pratap Rana
Member Secretary



1 2・3 ブジュン村「徳島の日」

参加者 募集

2001年度当協会事業計画の柱である、ブジュン村小型水力発電所視察並びに村関係者や村民との協力関係、及び交流交換活動の一環として、今年も12月3日の「徳島の日」に親善使節団を派遣する予定です。ネパールの国内事情は、徐々に安定してきていますのでご心配なく、是非ご参加ください。

尚、ご希望の方は事務局まで、至急申し出てください。

- ◎日 程 11月28日(水)～12月5日(水) 予定
- ◎参加費 実費 約25万円(自己負担)
- ◎申込期限 10月中

支援物資の搬送について

ネパールに対する支援物資については引続き各方面から寄せられており、早急に搬送することで継続検討中です。大型コンテナ(40フィート)の場合は、コンテナに空スペースができますので、会員の皆様のご協力で有用な支援物資がありましたら、事務局まで連絡くださるよう、お待ちしております。現在保管中の支援物資は次の通りです。

1. ポリタンク(新品) 218C/T (@C/T:4SET)
(@SET:3本ケース入り、872SET)
2. 衣類(新中古品) 多数
3. 消防ポンプ(中古) 1台
4. 医療機器(中古) 手術用顕微鏡など10数点
5. オルガン(中古) 11台
6. 教材、文具(中古)
7. 日用品、雑貨(新中古品)
8. 電線(IV1 6mmX3mm) 25巻

2001年8月28日現在

徳島ネパール友好協会

☎779-3211

徳島県名西郡石井町藍畑字西覚門718-5

TEL・FAX 088-674-4168 FAX 088-675-0835

○事務局よりのお願い 会費未納の方は、下記に振込んで下さい。

振込先

(銀行振替) 阿波銀行 石井支店 (普) 1009369 徳島ネパール友好協会

(郵便振込) 石井郵便局 01600-2-52742 徳島ネパール友好協会

吉住千重紀さん開設ホームページ、アドレス

[星とネパール] <http://www3.justnet.ne.jp/~volty/-private>

[徳島ネパール友好協会] <http://www3.justnet.ne.jp/~volty/TONPA/t-nepal>